

# 地域の防災力向上のために

みんなであら考えよう「自主防災」

## 「自主防災組織」って？

自主防災組織とは、地域住民が「自分たちのまちは自分たちで守る」という考え方（自助・共助）に基づいて自主的に防災活動を行う組織です。地震などの大規模な災害が起こった場合には、行政や消防機関などによる対応（公助）だけでは、救助・援助が困難なことが予想されま

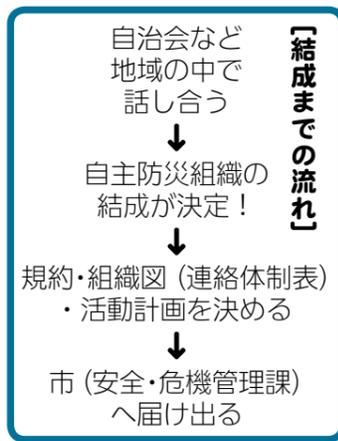
平常時の活動	①防災知識の普及・啓発 ②防災資機材・備蓄品の整備 ③防災訓練などの実施 ④災害時要援護者の把握 ⑤地域内の安全点検 (危険箇所の把握、避難所・避難経路の確認、地域の防災マップ作成など)
災害時の活動	①初期消火 ②救出・援助 ③情報の収集・伝達 ④避難誘導 ⑤避難所の管理・運営など

す。このような場合には、普段から顔を合わせている地域の人たちによる人命救助や消火活動が被害をより少なくすることにつながります。自治会などの組織を活用して自主防災組織を結成し、日頃から定期的な防災訓練などを行っておくことが災害に強い安全・安心なまちづくりにつながります。

自主防災組織の活動例としては、竹や袋を使ってご飯を炊く炊き出し訓練や、防災マップ、防災便りなどの作成、自主的な防災訓練の実施などが挙げられます。

## 自主防災組織を結成するには？

自主防災組織は、地域のみなさんで協議を行い、規約・組織・活動内容などを定めて設立します。地域の実情に応じて、最も効果的に防災活動が行えるよう、その規模や活動内容などを決めることが大切です。



安全・危機管理課  
危機管理対策係  
23-8090

## 「自主防災組織結成等支援事業補助金制度」があります

提出いただく書類は①規約②役員名簿③組織図④活動計画⑤組織区域図などです。規約などの内容については安全・危機管理課までお気軽にお問い合わせください。

自主防災組織を結成し、自主防災組織に対して防災資機材の整備などを行う場合には、補助金交付要綱に

## 世帯数別補助金限度額

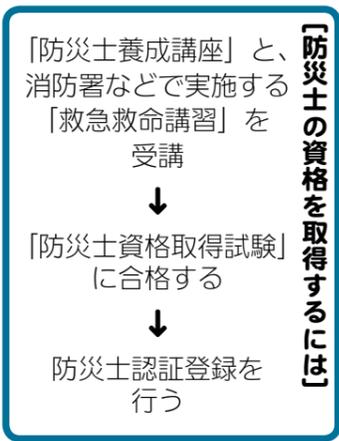
結成世帯数	補助金の限度額
30世帯まで	45,000円以内
50世帯まで	70,000円以内
100世帯まで	100,000円以内
150世帯まで	130,000円以内
200世帯まで	150,000円以内
300世帯まで	180,000円以内
301世帯以上	200,000円以内

より当該整備に要する経費の3分の2以内において助成する制度があります。申請については安全・危機管理課にお問い合わせください。なお、自主防災組織の結成世帯数によって、補助金の限度額が異なります。

Q 結成補助金以外に、自主防災組織に対する補助金や助成金はありませんか？  
A 現時点では、結成補助金のみとなります。

## 「防災士」って？

防災士とは、社会のさまざまな立場において、社会の防災力向上のための活動が期待され、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として、被害の拡大軽減活動や地域における被災者支援活動、また平時における防災・減災意識の啓発・訓練など、自主防災組織の即戦力として期待されています。



本市では、平成24年度までに40名の防災士を養成いたしました。本年度においても、実施時期は未定（昨年度は11月）ですが、20名程度を養成する予定です。

## ご利用ください！ まちづくり出前講座

「まちづくり」自主防災組織を作れ

## 防災に関する出前講座

講座 No.	講座名	時間 (分)	担当部署
46	一般救急講習～おぼえよう！応急手当～	60～90	安全・危機管理課
47	普通救命講習Ⅰ	180	安全・危機管理課
48	普通救命講習Ⅱ	240	安全・危機管理課
49	普通救命講習Ⅲ	180	安全・危機管理課
50	火災予防講座	60～120	予防課
51	地震防災対策講座	60	安全・危機管理課
52	消火訓練	60	予防課
55	自分たちのまちは自分たちで守る	30	安全・危機管理課
56	災害図上訓練 (DIG)	90～120	安全・危機管理課

「まちづくり出前講座」をご利用ください。申込用紙は、市ホームページ内「まちづくり出前講座」のページからダウンロードできます。

## 自助・共助・公助

防災対策の重要性が改めて認識される中、南海地震の発生が懸念されています。災害時、被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助のそれぞれが災害対応力を高め、連携することが大切であり、中でも自助・共助が最重要となります。自主防災組織を結成し、自主的に訓練を行い、防災訓練に参加するなどして、自助・共助の力での確に行動がとれるように、日頃から近所の人とコミュニケーションを図っておくことで、更なる地域防災力向上を目指しましょう。

## 自助

家庭で日頃から災害に備えたり、災害時に事前に避難したりするなど、自分の命を自分で守ること

## 共助

地域の災害時要援護者の避難や、消火活動を協力して行うなど、地域の安全を地域住民がみんな連携して守ること

## 公助

市役所や消防・警察・自衛隊などの防災機関による、救助活動や支援物資の提供など公的支援のこと

## 防災訓練

を実施します！

日時 9月8日(日) 9:00～11:30 ※荒天時中止

今年度の防災訓練は、右記の4会場で体験・経験型の訓練や講習などの実施を予定しておりますので、ぜひご参加ください。なお、訓練会場以外では、各自主防災組織や自治会などで避難経路や危険箇所の確認をしながら地区の集会所へ避難するなど、地域での自主的な訓練を実施し、今一度、自分たちのまちを見直してみましょう。

※詳しい内容は広報9月号にてお知らせします！

### 体験・経験型訓練実施会場

妻鳥小学校・三島小学校・長津小学校・旧新宮小学校の4会場 ※4会場以外での受付・訓練はありません

### 会場実施予定訓練

消火訓練、バケツリレー消火訓練、応急手当・救急救命講習、特殊車両展示など

安全・危機管理課 危機管理対策係 23-8090